

MAXZEN

輸入事業者 マクスゼン株式会社
〒136-0076 東京都江東区南砂2-7-5 ルーシッドスクエア東陽町1F
受付時間9:00-17:00(土・日・祝日・夏季休業期間・年末年始等を除く)
TEL:0570-099-455
mail : mtc@maxzen.jp

○本製品には、保証書が付いています。ご購入の販売店名、ご購入年月日のご記入なきものは、無効となりますので必ずご確認ください。
○本製品ならびに本書は、改善のために予告なく変更する場合があります。
○本書の内容の一部または全部の無断転載を禁じます。
本製品の使用・故障によって生じた、直接・間接の損害については、弊社はその責任を負わないものとします。
●私丁本・落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店、またはマクスゼンテクニカルセンターにご連絡ください。

MAXZEN

もくじ

安全上のご注意	1~4
使用上のお願い	5
調理上のご注意	5
本製品に出来ること	6
各部のなまえ	7~8
ご使用前に	9~11
調理の準備	12~13
調理のしかた	14~22
お手入れ	23~24
故障かなと思ったら	25~26
仕様	27
保証とアフターサービス	28~29
MEMO	30

家庭用 電気圧力鍋

型番：MEPC-TX301
(WH/RD/BK)

取扱説明書

保証書付

お買いあげいただきありがとうございます。
この取扱説明書（保証書付）をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。
ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に
必ず保存してください。

日本国内専用
Use only in Japan



- このイラストと実際の商品は多少異なる場合があります。
- この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.



圧力鍋は加熱されると内部が極めて高温・高圧になります。取り扱いを誤ると、やけどなどの危険がありますので、本書に記載の注意事項を必ずお守りください



Made in China

安全上のご注意

必ずお読みください

ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」をお読みください。
製品を安全で正確にお使いいただき、お使いになる人や周りの人々への危害・損傷を未然に防止するために守っていただくことを『△警告』と『△注意』に分けて説明しています。

 記号は<禁止>(しないでください)を表示します  記号は<強制>(必ずしてください)を表示します

警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

改造、分解、修理をしない



改造、分解、修理は絶対にしないでください。
火災・感電・けがの原因となります。
修理はお買上げの販売店又はマクスゼンテクニカルセンターにご相談ください。

異常等があるときは使わない



異常（煙が出る・異音がする・異臭がする等）があるとき、又は落下等により破損した時は電源プラグを抜いて本機の使用をおやめください。そのまま使用を続けると火災や感電の原因となります。

電源プラグ・コードは正しく使う



次のように電源コードが破損するようなことはおやめください。

- ・ねじる・引っ張る・無理に曲げる
 - ・束ねる・加工する・重い物を載せる
 - ・挟み込む・熱器具に近づける・傷つける
- 火災や感電の原因となります。



電源プラグや電源コードが傷んでいる時は使わないでください。
感電・ショート・発火の原因となります。



電源プラグを抜く時は、必ず電源プラグを持って抜いてください。
コードを引っばると、感電・ショートによる発火の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。不完全な差し込みの場合、感電や発熱による火災の原因となります。



電源プラグのほこり等を定期的に乾いた布で取り除いてお使いください。
汚れたまま使用すると絶縁不良が起こり火災の原因となります。
※お手入れの際は、安全のため電源プラグを差し込み口から抜いてください。



長期間使用しない時は電源プラグを抜いてください。
感電や漏電火災の原因となります。

表示された電源電圧以外で使わない



表示された電源電圧以外では使わないでください。また、コンセント・配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。
発熱による火災の原因となります。
※船舶や自動車の直流電源では使用できません。

差し込みがゆるいコンセントは使わない



コンセントの差し込みがゆるいときは使わないでください。感電や発火の原因となります。

雷が鳴りだしたら電源プラグに触れない



雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。

水で濡らしたり、水をかけたりしない



本機は防水ではありません。
機器内部のショートや発熱により火災や感電の原因となります。

安全上のご注意



包装用ポリ袋は、幼児の手の届かないところに保管する

厳守

誤ってかぶると、窒息の原因となります。



乳幼児の手の届く範囲で使用しない

禁止

感電やけがの原因となります。



落としたり、衝撃を加えたりしない

禁止

感電・故障の原因になります。



圧力切替弁、ノズル、圧力表示ピンなどが目詰まりしている場合は使用しない

禁止

やけど・けがの原因になります。



調理中は、無理にふたを開けない。移動させない

禁止

蒸気や調理物が噴出し、やけど・けがの原因になります。



使用中、使用直後は圧力表示ピンや圧力切替弁に触ったり、手や顔を近づけない

禁止

やけどの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



調理以外の用途では使用しない

禁止

故障・やけど・けがの原因になります。



レトルトパックなどを入れて調理しない

禁止

故障・発火の原因になります。



屋外で使用しない

禁止

故障の原因になります。



電源プラグをなめさせない

禁止

感電・けがの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



電源プラグに蒸気を当てない

禁止

ショート・発火の原因になります。

金属物などの異物を入れない



隙間などから金属物などの異物を入れないでください。機器内部のショートや発熱により火災や感電の原因となります。



熱器具の近くに置かない

火気禁止

樹脂部分が溶けて引火する原因となります。



パッキンなどの付属品は必ず取りつけて使用する

厳守

故障・やけど・けがの原因になります。また、傷んだパッキンは使用しないでください。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する

厳守

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- ・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- ・本体が作動しない など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げの販売店またはマクスゼンテクニカルセンターに点検・修理を依頼してください。



お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

やけど・けがの原因になります。



電源コード・電源プラグを水につけたり、水をかけたりしない

ぬれ禁止

ショート・感電の原因になります。

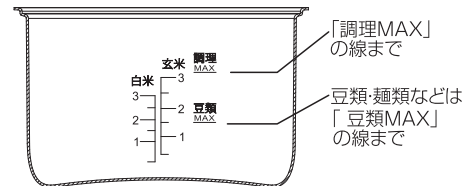
安全上のご注意

⚠ 注意 人が傷害を負う可能性及び物質的損害の発生が想定される内容

- 不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない**
禁止 転倒や落下によるけが・故障や火災の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。
 毛足の長いじゅうたん、ふとん、プラスチック樹脂、スライド式テーブルの上 など
- 壁や家具の近くで使わない**
禁止 蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。
- ストーブやガスコンロなど熱源・火気のそばで使わない**
禁止 変形・故障の原因になります。
- 水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所に置いて使わない**
水ぬれ禁止 ショート・感電・故障の原因になります。
- ふたの取っ手を持って移動しない**
禁止 落下によるけが・故障の原因になります。本体を移動する際は、本体の底を両手で持って移動してください。
- 多量の油・重曹などの熱に反応して発泡するものは使用しない**
禁止 やけど・故障の原因になります。
- 空だきをしない**
禁止 変形・故障の原因になります。
- 市販のタイマー機器を接続して使用しない**
禁止 故障の原因となります。
- お手入れは冷えてから行う**
厳守 高温部に触れ、やけどの原因になります。
- 内ふたとパッキンを取りつけないまま使用しない**
禁止 故障の原因になります。
- 直射日光の当たるところでは使用しない**
禁止 変色の原因になります。
- 電源コードは必ず付属のものを使用する**
厳守 故障・発火の原因になります。
- 使用中や使用後しばらくは、高温部に直接触れない**
接触禁止 高温のため、やけどの原因になります。必ずミトンやぬれふきんを使用してください。
- ノズルや取っ手にガタつきがある場合は使用しない**
禁止 けがの原因になります。
- ふたを確実に閉める**
厳守 圧力調理や本体を移動するときに、ふたの取っつけが不十分だと、調理物の熱い蒸気に触れたり調理物をこぼしたりして、やけど・けがの原因になります。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く**
電源プラグを抜く 使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
- 付属品を電子レンジ・オーブン・オーブンレンジなどで使用しない**
禁止 破損・変形の原因になります。
- 金属製のへらなどは使用しない。内なべで米を研がない。洗いおけ代わりに使用しない**
禁止 内なべに傷が付く原因になります。

安全上のご注意

- 内なべを直火にかけない**
禁止 変形・変色の原因になります。
- 内なべを落としたり、変形させたりしない**
禁止 故障の原因になります。
- パッキンなどは付属品以外のものを使用しない**
禁止 破損・故障の原因になります。
- ふたを持って移動しない**
禁止 やけど・けがの原因になります。持つ場合は両手で本体を持ってください。
- 揚げものはしない**
禁止 火災・やけど・けがの原因になります。
- 内なべの「調理MAX」の線以上には水や食材を入れて使わない。**
禁止 けが・やけどの原因になります。
- ふたを開ける場合は、圧力表示ピンが下がった後、圧力切換弁を回して蒸気を完全に排出してから開ける**
厳守 やけど・けがの原因になります。
- 調理量の最大量と最小量を必ず守る**
厳守 やけど・けがの原因になります。
- 食品カス等で汚れたままにしない**
厳守 誤作動や内部焼損の原因になります。
- ヨーグルトメニューでのご注意**
厳守 ふた、内ふた、なべを調理前によく洗ってしっかり乾燥させる。雑菌が繁殖しないよう、清潔な状態でご使用してください。
- スープ・カレーメニューでのご注意**
厳守 カレーやシチューのルーを入れて圧力調理しない。カレーやシチューのルーは必ず具材の圧力調理後、圧力が下がってから入れてください。



使用上のお願い

※ 圧力鍋は加熱されると内部が極めて高温・高圧になります。取り扱いを誤ると、やけどなどの危険がありますので、本書に記載の注意事項を必ずお守りください。

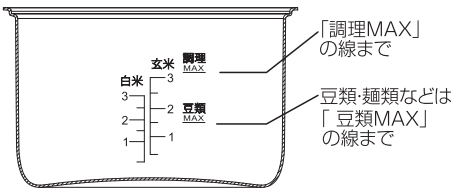
- 設置について
- 火気の近く、可燃物の近く、水のかかる場所には設置しない。また、棚などで使う場合は、蒸気がこもらないようにする。(故障の原因)
- 調理中・調理後のご注意
- 調理中や調理の直後は、振動などで蒸気が噴き出すおそれがあるため移動させない。(けが・やけどの原因)

- 調理前のご注意
- **ふたのノズルが詰まっていないことを確認してから使用する。(けが・やけどの原因)**
⇒ **ノズルの確認方法については、10ページの「ふたの組み立てと確認」を参照してください。**
 - 調理前に、本体にしっかりと付属品が取り付けられていること、本体と内なべの間にガタつきがないことを確認する。(故障の原因)
 - 内なべや本体内部、内ふたなどに、食品かすなどの異物を付けたまま使用しない。(故障の原因)
⇒ 異物の取り除きかたは、23～24ページの「お手入れ」を参照してください。
 - 内なべと本体の間に水を入れない。(故障の原因)

※ 調理中・調理の直後は高温になるため、ぜったいに、ふたには触らない。とくに、圧力表示ピンや圧力切換弁に触ったり、手や顔を近づけない。(やけどの原因)

調理上のご注意

- 調理量について
- 内なべの「調理 MAX」の線以上に、水や食材を入れて使わない。(けが・やけどの原因)
 - 豆類や麺類など調理によって分量が増えるものは、内なべの「豆類 MAX」の線以上に、水や食材を入れない。(けが・やけどの原因)
 - 蒸し料理は「白米 2」以上に水を入れない。



- 調理禁止の食材について
- カレーやシチューのルー、ジャムなど、粘りけのあるものを入れて圧力調理しない(ノズルが詰まり、けが・やけど、故障の原因)
カレーやシチューのルーは必ず具材の圧力調理後、圧力が下がってから入れてください。
 - 重曹など発砲するものや、多量の油を入れて調理しない。(けが・やけどの原因)
 - おかゆを調理する場合、青野菜などの具は圧力調理後に入れる。(故障の原因)

- 内なべを長くお使いいただくために
- 内なべのコーティングを傷つけないため、お守りください。
- 内なべで米を研いだり、豆などのかたい食材を洗ったりしない。
 - かたい食材を調理する際は、内なべの内面に食材を押しつけたり、強くかき混ぜたりしない。
 - 金属製のヘラやおたまなどは使用しない。
 - **内部圧力の圧力が残っている状態で、絶対にふたを無理に開けない。(けが、やけどの原因)**

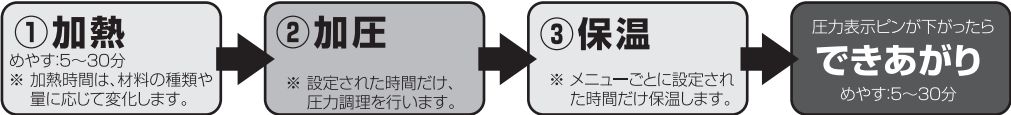
本製品に出来ること

- 11 種の基本メニューと便利な加熱機能
- メニューを選ぶだけで、それぞれのメニューに合わせた加圧時間で調理できます。
- | | | | |
|-------|---------|-----------|--------|
| ■ ごはん | ■ 玄米 | ■ スープ・カレー | ■ 蒸し料理 |
| ■ ケーキ | ■ 肉じゃが | ■ スロー調理 | ■ 豚角煮 |
| ■ 煮魚 | ■ ヨーグルト | ■ 煮豆 | ■ 加熱 |
- ※ カレーを調理する際、カレーラーは、具材の圧力調理後に溶かします。調理方法について、詳細は付属のレシピブックをご覧ください。

- その他の便利な機能
- 圧力調理モード
加圧時間をお好みで設定できます。
 - スロー調理モード ※ 92-95℃で自動制御で調理します。
加圧せずに調理を行います。沸騰せずにじっくり調理することで、煮崩れせずに食材をやわらかく調理することができます。
 - 加熱モード ※ 90℃前後で調理
調理物のあたためなおしができます。豚汁やカレー、シチューなどの汁気のある調理物がおすすめです。
 - 予約炊飯機能 (※ ヨーグルトメニュー以外)
設定した時間が経過すると、調理が開始する予約機能です。生活シーンに合わせて、最大 24 時間まで設定できます。
 - ※ 予約炊飯は、ごはん、玄米以外の調理では季節や温度による具材の腐敗などに十分ご注意ください。
 - ヨーグルトモード ※ 約 42℃で調理します。
ヨーグルトやパンのタネ作りなどができます。

調理時間の目安

圧力調理では「加熱」「加圧」「保温」の3 つの工程で調理を行います。



- ①加熱：調理を開始すると、本体内部を一定の圧力に上げるために加熱を行います。
- ②加圧：本体内部が一定の圧力に達し、維持されている状態を加圧状態といいます。メニューごとに加圧時間が予め設定されています (下記を参照)。
- 材料の種類・量・大きさに応じて、加圧時間をお好みで調節したいときは、 時間 / 分ボタンで加圧時間を調節してください。調節が可能な時間はメニューにより異なります。

【調理時間の目安表】※「●」印は圧力を使うメニューになります。

調理メニュー		加圧時間 (初期設定)	加圧時間 (調整範囲)	保温時間	調理メニュー		加圧時間 (初期設定)	加圧時間 (調整範囲)	保温時間
ごはん	●	12 分	5～15 分	最長 24 時間	スロー調理		無圧 4 時間	無圧 1～8 時間	最長 24 時間
玄米	●	15 分	5～120 分	最長 24 時間	豚角煮	●	45 分	5～120 分	最長 24 時間
スープ・カレー	●	10 分	5～40 分	最長 24 時間	煮魚	●	25 分	5～60 分	最長 24 時間
蒸し料理		無圧 15 分	無圧 2～120 分	最長 24 時間	ヨーグルト		無圧 8 時間	無圧 1～24 時間	無し
ケーキ		無圧 50 分	無圧 30～120 分	最長 24 時間	煮豆	●	15 分	2～120 分	最長 24 時間
肉じゃが	●	5 分	5～120 分	最長 24 時間	加熱		無圧 15 分	無圧 10～60 分	最長 24 時間

- ③保温について：圧力調理が終了すると、自動的に保温に切り替わり、減圧されていきます。
- ※ 圧力調理後は、圧力表示ピンが下がってからふたを開けてください。
 - ※ 加熱調理後は直接保温モードに入り、最長 24 時間で保温出来ます。
 - ※ 保温が 24 時間以上になると、自動的に切れます。保温設定時間を設定することはできません。
 - ※ 保温を終了する場合は、再度、停止 / 保温ボタンを押してください。
 - ※ 65℃-75℃の保温になります。(温度は自動設定です) 保温温度は調整できません。
 - ※ 加圧時間は目安です。食材や調理環境、食材の量によって時間が前後することがあります。

各部のなまえ



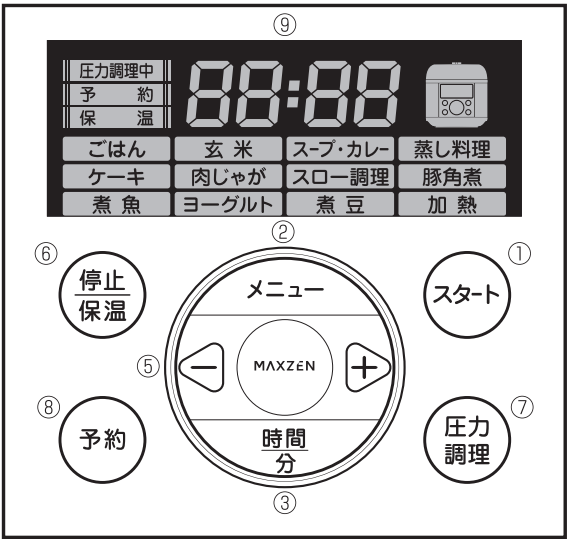
※ 付属の蒸し台は、プリンや茶碗蒸しなどの蒸し料理に使用します。水を入れた内なべに蒸し台をセットし、蒸し台の上に調理物をのせてください。(調理方法について、詳細は付属のレシピブックをご覧ください。)

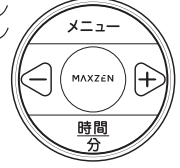
※ 蒸し台を使用する際は、必ず内なべに水を入れてください。(白米 2 の水位まで) 空だきはしないでください。

※ 蒸し台は、イラストの向きで置いてください。(4 本の足がある面が下です。)

各部のなまえ

操作パネル



ボ タ ン	機 能 説 明
① スタートボタン 	● 運転をスタートするときに押します。
② メニューボタン ③ 時間 / 分ボタン ④ (+) ボタン ⑤ (-) ボタン 	② メニューボタン 12 種の基本メニューを選択するときに押します。押すたびにメニューが順送りに切り替わります。 ③ 時間 / 分ボタン 圧力調理モードの加圧時間や、スロー調理モードの加熱時間、予約炊飯の開始時間を設定するときに押します。 ④ (+) ボタン 押すごとに、選択されているメニューが順に切り替わります。時間の設定プラス。 ⑤ (-) ボタン 押すごとに、選択されているメニューが逆の順番に切り替わります。時間の設定マイナス。
⑥ 停止ボタン / 保温ボタン 	● 操作設定の取り消しや作動中の機能を中止するときに押します。 ● 調理物を再加熱する保温機能で運転するときに押します。
⑦ 圧力調理ボタン 	● 加圧時間を自由に設定できる圧力調理モードで運転するときに押します。
⑧ 予約ボタン 	● メニューを選び予約を押して時間を設定してください。(ただし、ヨーグルトは設定できません。)
⑨ ディスプレイ	● 選択中のメニューや、圧力調理・スロー調理の残り時間、保温時間などが表示されます。 ● 圧力調理中、予約、保温などの動作中に点灯します。

※ 温度は固定となり調整はできません。

ご使用の前に

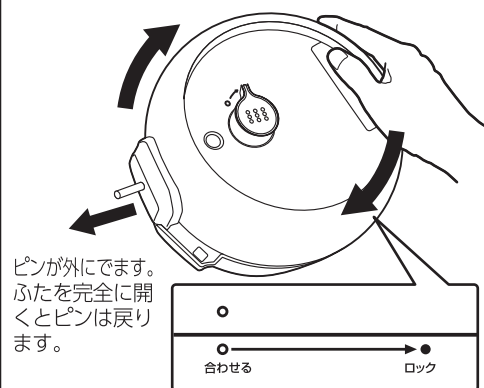
本機をはじめてお使いになる場合、またはしばらくお使いになっていなかった場合は、本体内部にほこりやごみなどが付着している可能性があります。23～24 ページの「お手入れ」を参照して各部を洗浄してからお使いください。洗浄後はよく乾かしてご使用ください。

■ ふたの開けかた、閉めかた

開けかた

時計回りに、ふたの○マークと本体側面の  マークが合う位置まで回します。

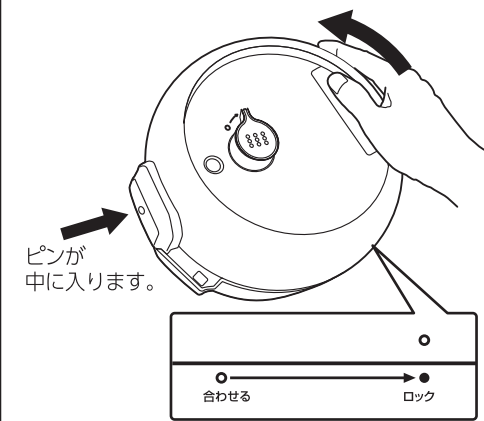
※ 調理後にふたを開ける場合は、ふたの高温部（圧力切換弁、圧力表示ピン、内ふたなど）や、調理物から出てくる蒸気に素手で触らないように、必ずミトンを使用してください。



閉めかた

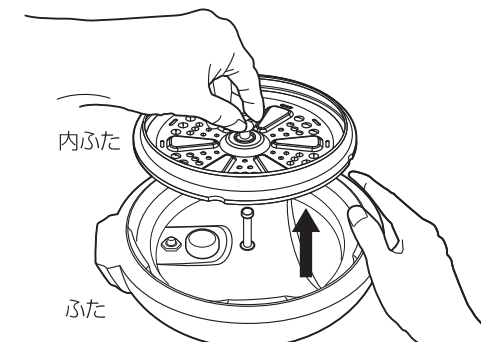
本体側面の  マークとふたの○マークの位置を合わせてふたをはめ込み、反時計回りに、本体側面の  マークの位置まで回します。

※ マークとマークの位置は、本体およびふた側面のラベル（下図）で確認してください。

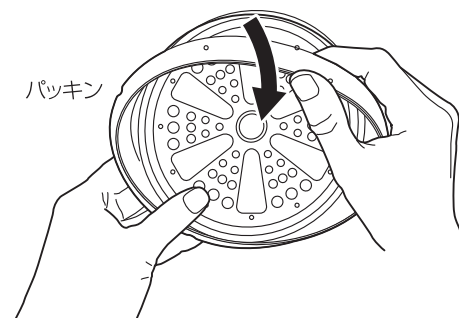


■ ふたの分解

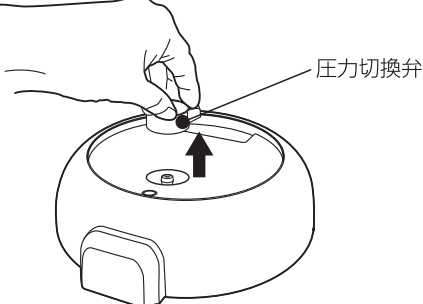
① 中央部を持って、ふたから内ふたを取りはずします。



② 内ふたの周囲にあるパッキンを取りはずします。



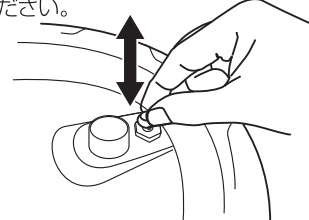
③ 圧力切換弁をふたから引き抜きます。
※ 引き抜きのときは、ふたを押さえながら圧力切換弁を引き抜いてください。



ご使用の前に

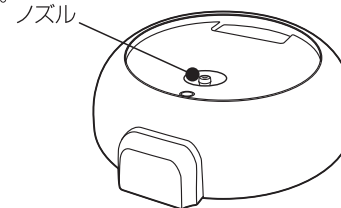
■ ふたの組み立てと確認

① 圧力表示ピンが動くか確認します。
※ ふたの内側から、圧力表示ピンをつまんで上下に動くことを確認してください。確認時、圧力表示ピンのパッキンに無理な力を加えないように注意してください。

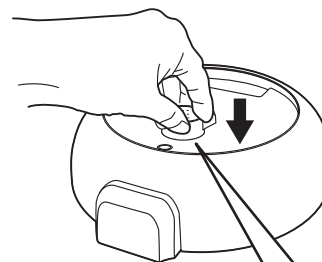


※ お手入れなどで圧力表示ピンのパッキンを取りはずした場合は、ご使用前に必ず取り付けてください。

② 圧力切換弁をふたにはめ込みます。
※ はじめに、つまようじなどをノズルに差し込み、ノズルが詰まっていないことを確認してください。ノズルが詰まっていると圧力調整ができず、蒸気や調理物が噴出して、けが、やけどの原因になります。

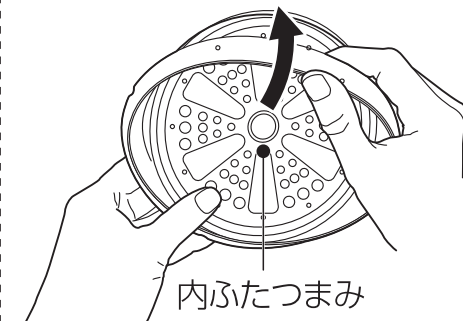


※ 圧力切換弁を強く押しはめ込んでください。

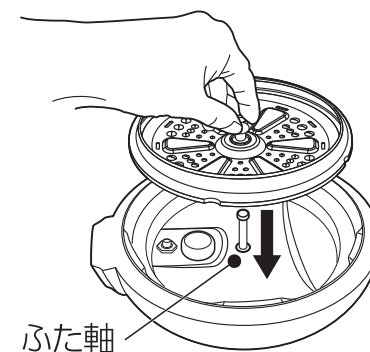


※ 圧力切換弁をはめ込んだ後、軽く引っ張って、圧力切換弁が抜けないことを確認してください。

③ 内ふたの周囲にパッキンを取りつけます。
※ パッキンはしっかりとめ込んでください。



④ 内ふたをふたにしっかりと取りつけます。
※ 内ふたつまみが外側になるように取り付けてください。
※ 内ふたつまみにふた軸をしっかりと差し込みます。その後、内ふたが落ちないことを確認してください。

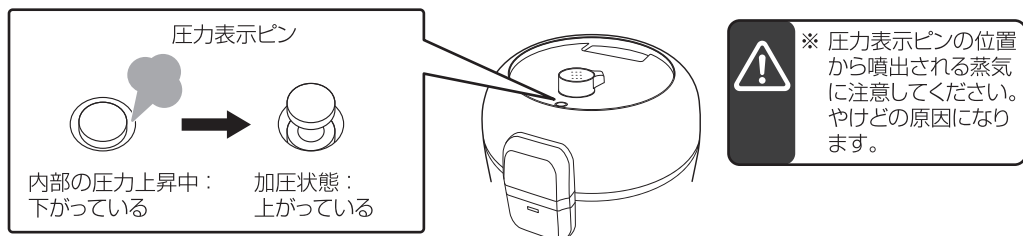


※ 部品のつけ忘れにご注意ください。
● 内ふたやパッキンをつけ忘れると、機器の内部に蒸気が入り込み、故障の原因になります。
● 圧力切換弁や圧力表示ピンをつけ忘れると、圧力が加からず調理ができない原因になります。

ご使用の前に

■ 圧力表示ピンについて ■

- ※ 調理開始後、内部の圧力が上昇するとピンの位置から蒸気が噴出します。内部の圧力が上昇するにつれてピンが上がり、加圧状態に達するとピンが上がりきって蒸気の噴出も停止します。
- ※ 圧力切換弁はなべの圧力が高くなりすぎると蒸気が圧力切換弁を押し上げて、蒸気を逃す仕組みになっています。ふたに取り付けた時に、多少のぐらつきや傾きがあっても異常ではありません。



■ 圧力切換弁について ■

圧力切換弁には「密封」と「排気」の2つの機能があります。

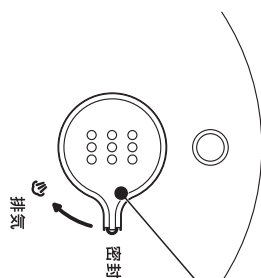


- ※ 調理中や調理の直後は、圧力切換弁には触れないでください。けが、やけどの原因になります。

密封

内部の圧力を一定に保ちます。
調理開始時には必ず「**● 密封**」の位置に合わせます

- ※ 圧力調理メニュー 7 種 + 圧力調理モード使用の場合のみ

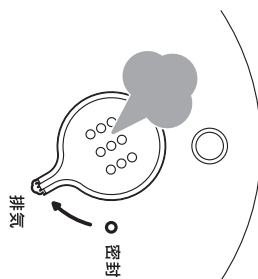


圧力切換弁

- ※ 圧力を使わない調理メニューでは圧力切換弁を排気に合わせてご使用ください。

排気

スロー調理モードで加熱調理をする場合は、
圧力切換弁を「**☑ 排気**」の位置に合わせます。



- ※ 加熱中は、圧力切換弁から排出される蒸気に注意してください。



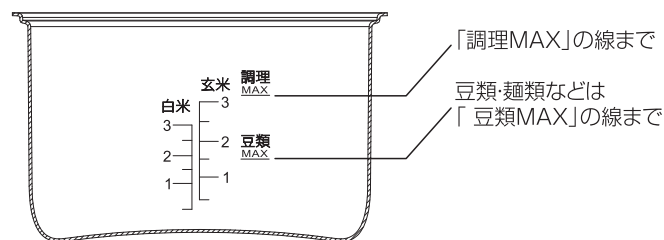
- ※ 調理中や調理の直後は、圧力表示ピンが下がるまでは、絶対に圧力切換弁を「排気」にしないでください。高温の蒸気が吹き出し、けが、やけどの原因になります。

調理の準備

1 材料を内なべに入れる

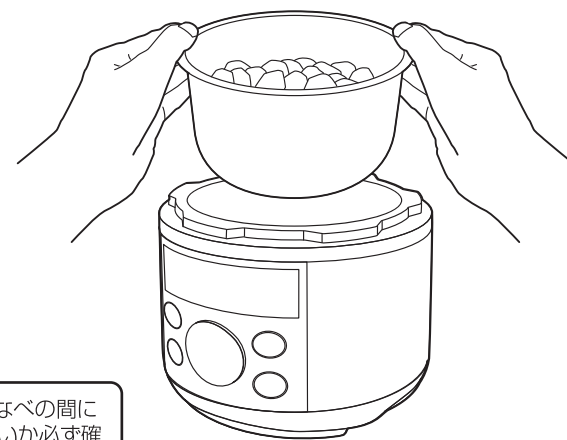
- 材料の下準備について、詳細は付属のレシピブックをご覧ください。
- 調味料の溶け残りを防ぐため、調味料はあらかじめ混ぜ合わせてから入れてください。

- ※ 内なべのコーティングを傷つけないため、内なべで米を研いだり、豆などのかたい食材を洗ったりしないでください。
- ※ 内なべの「調理 MAX」の線以上に、水や食材を入れて使わないでください。豆類や麺類など調理によって分量が増えるものは、内なべの「豆類 MAX」の線以上に、水や食材を入れないでください。やけど・けがの原因になります。



- ※ カレーやシチューのルー、ジャムなど、粘りけのあるものを入れて圧力調理しないでください。圧力調理中に、ノズルにルーなどが詰まり、圧力調整ができなくなる可能性があります。カレーやシチューのルーは具材の圧力調理後、圧力が下がってから溶かします。カレーやシチューの調理方法については、付属のレシピブックに従ってください。

2 内なべを本体にセットする



- ※ 内なべが傾いていないか、本体と内なべの間に食品かすなどの異物が挟まっていないか必ず確認してください。
- ※ 内なべ外側の水気を拭き取ってから、セットしてください。

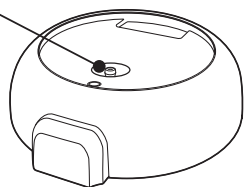
調理の準備

3 ふたが正しく組み立てられているか、次の点を確認する

● ノズルが目詰まりしていないこと

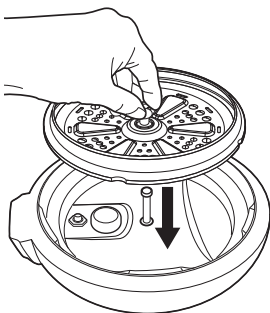
つまようじなどをノズルに差し込み、ノズルが詰まっていることを確認してください。(蒸気や調理物の噴出によるけが・やけどを防ぐため)

ノズル



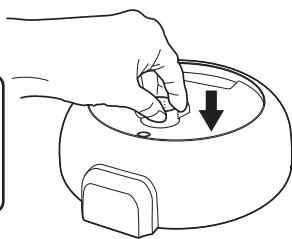
● 内ふたとパッキンがしっかりと取り付けられていること

内ふたとパッキンのつけ忘れにご注意ください。機器の内部に蒸気が入り込み、故障の原因になります。



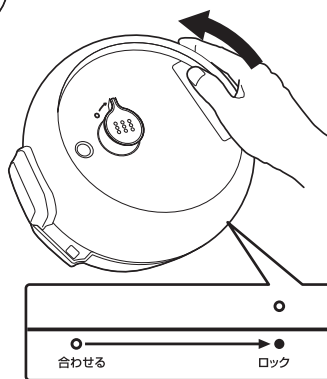
● 圧力切換弁が、ふたにしっかりと取り付けられていること

圧力切換弁のつけ忘れにご注意ください。圧力切換弁をつけ忘れると、圧力が加からず蒸気が噴出し、故障・やけどけがの原因になります。



4 ふたを閉める

● ふたの閉めかたについては、9 ページの「ふたの開けかた、閉めかた」を参照してください。



5 電源コードの本体側プラグを本体に差し込み、電源プラグをコンセントに差し込む

- “ピッ”という音がして、メニュー選択表示になります。
 - 1 分間何も操作しないとスタンバイモード(圧力鍋イラストの表示)になります。
- ※ふたが確実に閉まっていない場合“ピッ”という音がしてディスプレイの圧力鍋イラストのふたが赤く光ります。



※メニュー選択表示の状態。



※スタンバイモードの状態。



※ 定格15A・交流100V のコンセントを単独で使用してください。他の機器と併用すると、発熱による火災・故障の原因になります。

調理のしかた

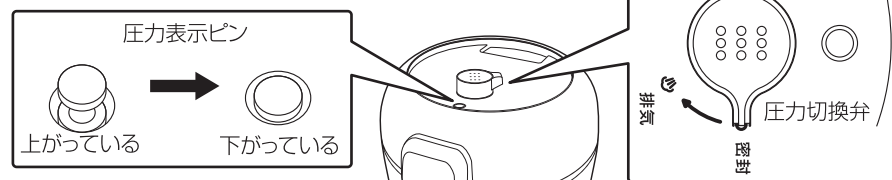
本機の圧力調理は、メニューに合わせて加圧時間が設定されている基本メニューと、加圧時間が自由に設定できる圧力調理モード(16 ページ)があります。調理例について、詳細は付属のレシピブックをご覧ください。

■ 基本メニューでの圧力料理 ■ (圧力調理メニュー)

1 12 ページを参照し、調理の準備をする

- 安全のため、調理禁止の食材や、ふたの組み立てなど、必ずお守りください。

2 ふたを閉めたら、圧力切換弁を「● 密封」の位置にセットし、圧力表示ピンが下がっていることを確認する



3 メニューを押して、メニューを選ぶ

- 選択されているメニューがディスプレイに点滅表示されます。ボタンを押すたびに、下記のメニューが順に切り替わります。



ボタンを押した場合

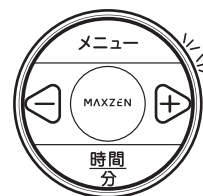
ごはん→玄米→スープ・カレー→蒸し料理→ケーキ→肉じゃが→スロー調理→豚角煮→煮魚→ヨーグルト→煮豆→加熱

- ディスプレイ表示に「P」があるメニューは圧力調理メニューです。
- 6 ページの調理時間の目安表を参照して圧力調理メニューは圧力切換弁を密封に無圧メニューは排気的位置にセットしてください。



※ 何も操作しないと以下の順に表示が切替ります。
1 分後 → メニュー選択表示 → 1 分後 → スタンバイモード

4 スタートを押して、調理を開始する



※(スタート) スタートボタンを押すと“ピッ”という音がして、メニュー / 時間 / 分ボタン周りの青色 LED ランプが回転点灯し、加熱を始めます。再び“ピッ”という音がして青色 LED ランプが全灯したら圧力調理を開始します。

調理中のディスプレイについて

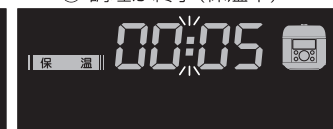
① 加熱中



② 調理中



③ 調理が終了(保温中)



※ メニュー / 時間 / 分ボタン周りの青色 LED ランプが回転点灯し、加熱します。加熱中、時間の表示は変化しません。

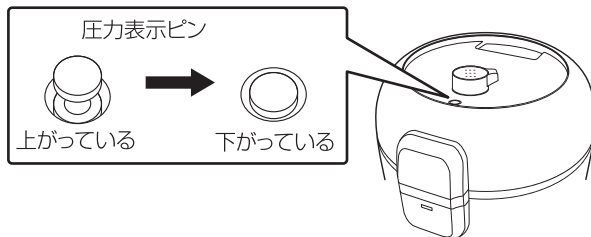
※ 圧力調理中はディスプレイの「圧力調理中」が点灯します。
※ 残り時間が減っていきます。調理中は時々青色 LED ランプが回転点灯します。

※ “ピッピッピッ”と音がして保温に切り替わります。
※ 上図イラストは、保温開始から 5 分経過した場合。

※ 調理中に加熱中と加圧中の動作が混ざって作動する場合がございますが、内なべ内の圧力値を調整するためで正常動作です。
※ 加熱や減圧(圧力表示ピンが下がるまで)の時間は食材の種類や量、調理内容によって変化します。

調理のしかた

5 終了音(ピッピッピ)が鳴り、保温に切り替わったら、圧力表示ピンが下がるまで待つ



- ① すぐにふたを開けたい場合は、
 停止 / 保温ボタンを押して保温を終了します。

※ 詳しくは 22 ページを参照してください。

- ② 続けて使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。

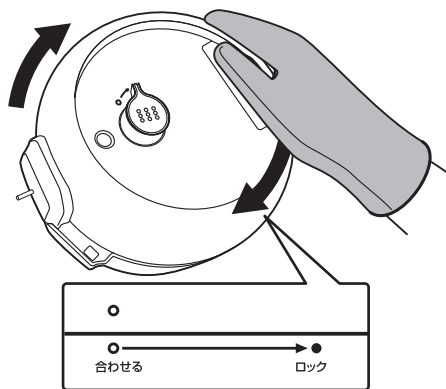


※ 調理後も内部の圧力は残っています。圧力表示ピンが下がるのを待ってから、ふたを開けてください。
 ※ 調理中や調理の直後は、圧力切換弁には触れないでください。高温の蒸気が吹き出し、けが、やけどの原因になります。

- 保温に切り替わっても圧力表示ピンはすぐには下がりません。
- 圧力表示ピンが下がるまでの時間の目安は、5～30 分です。

※ 調理内容によって、減圧時間は異なります。

- ① 調理後にふたを開ける場合は、やけど防止の為、耐熱性手袋(ミトン等)を必ずはめてください。
- ② 時計周りに本体側面の **○ 合わせる** マークまで回します。
- ふたを開けたときに内なべがくっついてくる場合は、16 ページを参照してください。



※ ふたの高温部(圧力切換弁、圧力表示ピン、内ふたなど)や調理物から出てくる蒸気に素手で触れないように、耐熱性手袋(ミトン等)を使用してください。
 ※ ふたを開ける際は、少し回して、ふたのすき間から蒸気が出てこないことを確認してください。
 ※ ふたを開ける際、重く感じたら内部の圧力が下がっていない可能性があります。少し時間を置いてから開けてください。
 ※ 内部の圧力が残っている状態で、絶対にふたを無理に開けないでください。少しでも圧力が残っていると、ふたが飛んだり、高温の蒸気や調理物が噴出したりして、けが、やけどの原因になります。

調理のしかた

■ 調理後の保温について

- 調理が終了すると自動的に保温に切り替わります。
- 保温時間は、各メニュー最長 24 時間です。※ヨーグルトは保温しません。設定された保温時間が経過するとメニュー選択表示(---:--- 点滅表示)になり、1 分後にスタンバイモードになります。各メニューの保温時間については、6 ページの「調理時間の目安」を参照してください。
- 保温中は、保温開始からの経過時間がディスプレイに表示されます。
- 保温を終了するときは、 停止 / 保温ボタンを押してください。
- 調理終了後に自動で保温したくない場合は調理中に「スタート」ボタンを 1 回押すとディスプレイの「保温」の表示が消えて、自動保温機能がキャンセルされます。
- ごはんや玄米は炊飯後にしゃもじで軽くかきまぜ再度ふたをし、15 分程度蒸らしてください。密封調理のため水っぽくなる場合があります。



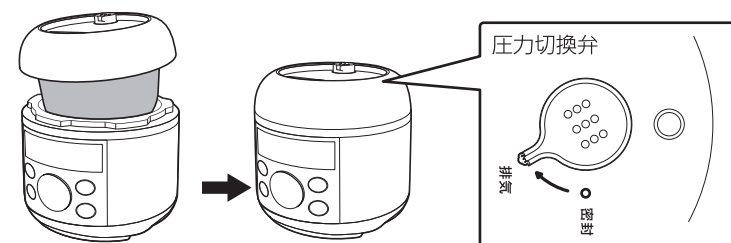
※ 保温開始から5分経過した場合

■ ふたを開けるときの内なべがくっついて離れないときは

一度ふたを本体に戻し、
圧力切換弁を

「 排気」に

切り換えてから、再度
ふたを開けてください。



※ 圧力表示ピンが上がっている状態では絶対に「排気」にしないでください。
 ※ 圧力切換弁から蒸気が出てくることがあるので、耐熱性手袋(ミトン等)をはめてください。

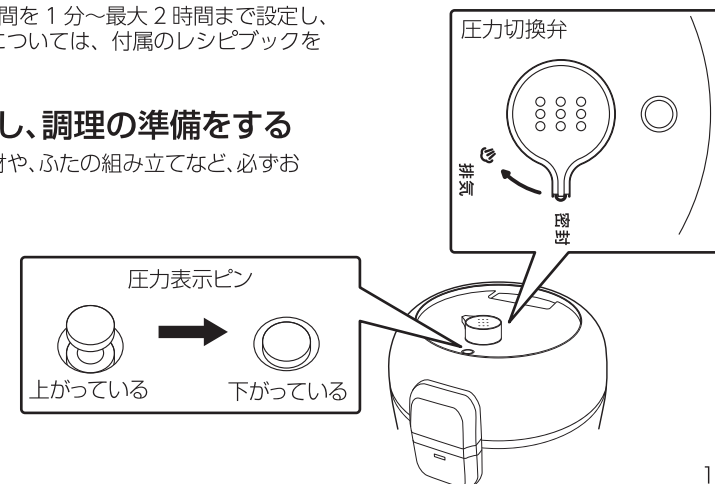
■ 加圧時間を自由に設定できる圧力調理モード ■

「圧力調理モード」では、加圧時間を 1 分～最大 2 時間まで設定し、圧力調理ができます。調理例については、付属のレシピブックをご覧ください。

1 12ページを参照し、調理の準備をする

- 安全のため、調理禁止の食材や、ふたの組み立てなど、必ずお守りください。

2 圧力切換弁を「 密封」の位置にセットし、圧力表示ピンが下がっていることを確認する



調理のしかた

3 メニュー選択表示又は各メニュー表示されている状態で を1回押すと任意での設定モードとなる

- 加圧時間を1分以上に設定するときは、  ボタンを押します。1分単位で、最大2時間まで設定できます。



- 1時間の単位を直接設定するときは  時間/分ボタンを押し **P:**を点滅させて   ボタンで設定。



-  時間/分ボタンで「時間」と「分」の単位を切り換えられます。
- 「分」の単位を選択している時   を長押しすると、時間が早く進みます。

 ※ 何も操作しないと以下の順に表示が切替ります。
1分後 → メニュー選択表示 → 1分後 → スタンバイモード

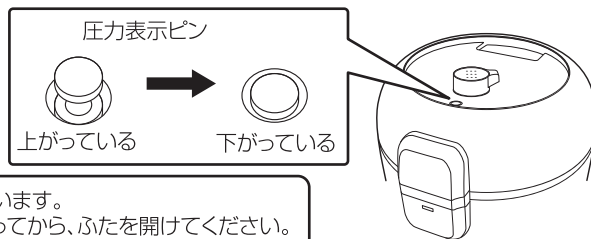
4 を押して、調理を開始する

- “ピッ”という音がして、メニュー/時間/分ボタン周りの青色LEDランプが回転点灯し、加熱を始めます。青色LEDランプが全灯したら圧力調理が開始します。
- 加圧状態に達すると、“ピッ”と音が鳴って圧力表示ピンが上がってから、ディスプレイの **圧力調理中** が点灯します。(圧力表示ピンについては11ページを参照)
- 調理中の工程は、14ページの手順4を参照してください。



5 終了音が鳴り調理が終了したら、圧力表示ピンが下がるまで待つ

- 圧力調理が完了すると“ピッピッピッ”と音がして、保温(00:00の表示)に切り替わります。



 ※ 調理後も内部の圧力は残っています。圧力表示ピンが下がるのを待ってから、ふたを開けてください。

6 圧力表示ピンが下がっていることを確認してから、ふたを開ける

- ふたの開けかたや注意事項は、15ページを参照してください。
- ※ 調理中に加熱中と加圧中の動作が混ざって作動する場合がございますが、内なべ内の圧力値を調整するためで正常動作です。

調理のしかた

■ 予約炊飯のしかた ■ (予約炊飯機能)

予約した時間になると自動的に運転が開始する「予約炊飯」を設定できます。

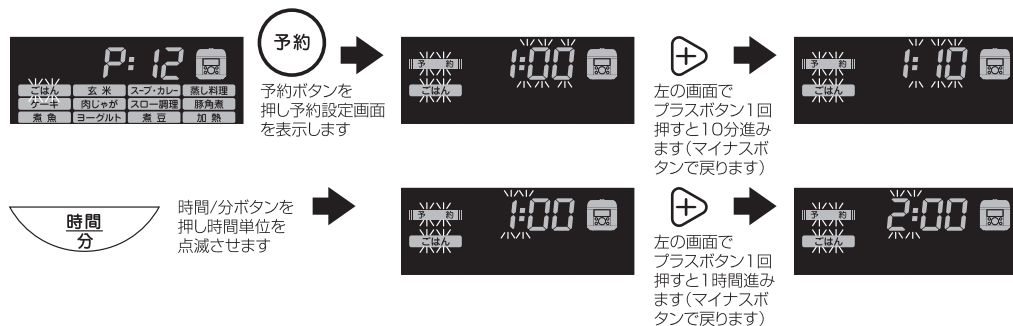
 ※ 予約炊飯は、ごはん、玄米以外の調理では季節や温度による具材の腐敗などに十分ご注意ください。

1 12ページを参照し、調理の準備をする ※ 2時間後スタートの場合

- 安全のため、調理禁止の食材や、ふたの組み立てなど、必ずお守りください。

2 ボタンまたは ボタンでメニューを選択、 ボタンを押し予約設定画面に切り替える

3 ボタンまたは ボタンを押して、予約開始 (運転を開始するまでの時間)を設定する



- ボタンを押すごとに、時間は1時間単位、分は10分単位で入時間が変わります。最大24時間後まで設定できます。

 ※ 何も操作しないと以下の順に表示が切替ります。
1分後 → メニュー選択表示 → 1分後 → スタンバイモード

4 を押して、予約炊飯を開始する

- 予約設定時間の表示が点滅から点灯に変わり、予約炊飯の運転が開始されます。
- 予約設定時間がカウントダウンされ設定表示が「00:00」になると調理が始まります。
- ※ 予約炊飯機能は設定時間に調理がスタートする前にまず加熱し、温度を約65℃に維持するように保温機能が働きます。(ごはん、玄米は、予約設定時間になると加熱が始まります。)



※ 予約時間を2時間に設定した場合。

調理のしかた

■ スロー調理のしかた ■ (スロー調理モード)

「スロー調理モード」では、加圧せずに加熱調理を行います。加熱時間は、1時間～最大8時間まで設定できます。スロー調理での調理例について、詳細は付属のレシピブックをご覧ください。

1 12 ページを参照し、調理の準備をする

- 安全のため、調理禁止の食材や、ふたの組み立てなど、必ずお守りください。

2 圧力切換弁を「排気」の位置にセットする

3 ボタンまたは +/ー ボタンで“スロー調理”を選択、時間/分ボタンで時間、分を選択 ボタンを押して加熱時間を設定する

- 1分単位で、最大8時間まで設定できます。“スロー調理”初期設定時間は4時間です。



-   +/ー ボタンを長押しすると、時間が早く進みます。

※ 何も操作しないと以下の順に表示が切替ります。
1分後 → メニュー選択表示 → 1分後 → スタンバイモード

4 を押して、調理を開始する

- “ピッ”という音がして、メニュー/時間/分ボタン周りの青色LEDランプが回転点灯し、加熱を始めます。青色LEDランプが全灯したら調理が始まります。
- 調理中の工程は、14 ページの手順4 を参照してください。

スロー調理中のディスプレイについて



加熱中、時間の表示は変化しません。

②が点滅し、残り時間が減っていきます。

保温開始から5分経過した場合

- スロー調理が完了すると“ピッピッピッ”と音がして、自動的に保温に切り替わります。保温時間は24時間です。

※ 調理中に青色LEDランプが回転点灯と点灯をくりかえす場合がございますが、内なべ内の温度を調整するためで正常動作です。

※ ふたの高温部(圧力切換弁や圧力表示ピンなど)から出てくる蒸気にご注意ください。

調理のしかた

■ 料理の温めなおし ■ (加熱モード)

加熱モードで、調理物のあたためなおしができます。あたためなおしにおすすめの調理物は、豚汁やカレー、シチューなどの汁気のあるものです。汁気の少ないものは、うまくあたためなおしできません。



- ※ 調理量は、最大量と最小量(内なべの目盛の範囲内)を必ずお守りください。
- ※ 使用中や使用後しばらくは、内なべなどの高温部に直接触れないでください。やけどの原因になります。必ず耐熱性手袋(ミトン等)やぬれふきんを使用してください。

1 内なべに調理物を入れて、本体にセットする

- このとき、ふたは閉めないでください。

2 ボタンまたは +/ー ボタンで“加熱”を選択、 ボタンで時間、分を選択、 +/ー ボタンで加熱時間を設定する

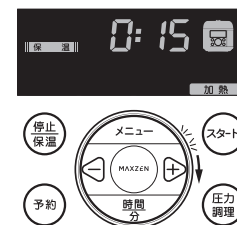
- 加熱時間は1分単位で、最大1時間まで設定できます。“加熱”初期加熱時間は15分です。範囲(10分-1時間)



-   +/ー ボタンを長押しすると、時間早く進みます。

3 を押して運転を開始する

- “ピッ”という音がして、メニュー/時間/分ボタン周りの青色LEDランプが回転点灯し、加熱を始めます。青色LEDランプが全灯したらあたためを開始します。
- 内なべの温度が90℃に達すると、表示されている加熱時間が減っていきます。加熱時間が「00:00」になると、自動で保温に切り替わります。保温時間は24時間です。



温めなおし中のディスプレイについて



- あたためを途中で停止するには、停止 / 保温ボタンを1回押してください。2回押すと再び保温になります。



- ※ カレーやシチューなどは焦げやすいため、かきまぜながらあたためてください。また、飛び散りにご注意ください。

4 を押して保温を終了する

※ 温めなおし(加熱モード)はふたを開けたまま行方、必ず本機からはなれないでください。

調理のしかた

■ ヨーグルトのつくり方 ■ (発酵モード)

ヨーグルトメニューで、プレーンヨーグルトとつくることができます。

※ プレーンヨーグルト以外はつくることができません。分量は牛乳 10 に対し、プレーンヨーグルト 1、発酵時間は 8 時間が基本です。最大 24 時間まで設定できます。詳細は付属のレシピブックをご覧ください。



※ ふた、内ふた、なべを調理前によく洗ってしっかり乾燥させ、雑菌が繁殖しないよう、清潔な状態でご使用してください。

1 12 ページを参照し、調理の準備をする

- 安全のため、調理禁止の食材や、ふたの組み立てなど、必ずお守りください。

2 圧力切換弁を「排気」の位置にセットする

3 ボタンまたは +/ー ボタンで“ヨーグルト”を選択する (基本設定でつくる)



※ ヨーグルトモードでは予約設定はできません。

※ ヨーグルトの発酵時間は基本設定の8時間をおすすめします。

※ ヨーグルトモード(発酵モード)は42℃の固定温度になります。

※ ヨーグルトの出来上がりは材料の種類や温度、気温などに影響を受けることがあります。

好みのかたさにしたいなど、設定時間を微調整する場合は、 メニューボタンで“ヨーグルト”を選択  時間/分ボタンで時間、分を選択、  ボタンを押して発酵時間を変更してください。



※ 何も操作しないと以下の順に表示が切替ります。
1 分後 → メニュー選択表示 → 1 分後 → スタンバイモード

4 を押して、発酵を開始する

- “ピッ”という音がして、メニュー/時間/分ボタン周りの青色LEDランプが回転点灯し、加熱を始めます。青色LEDランプが全灯したら発酵を開始します。

発酵中のディスプレイについて

① 加熱中



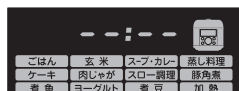
加熱中、時間の表示は変化しません。

② 発酵中



：が点滅し、残り時間が減っていきます。

③ 発酵が終了



時間表示が終了し全モードが点灯します (メニュー選択表示)

- 発酵が完了すると“ピッピッピッ”と音がして、加熱を終了します。発酵が終わりましたらヨーグルトを清潔な容器に移し冷蔵庫で保存してお早めにお召し上がりください。出来上がったヨーグルトを使ってヨーグルトを作らないでください。(雑菌が混入するおそれがあります。)

※ ヨーグルトモードに保温機能はありません。

※ 調理中に青色 LED ランプが回転点灯と点灯をくりかえす場合がございますが、内なべの温度を調整するためで正常動作です。

調理のしかた

■ やむを得ず急いでふたを開けたいときは ■

急いでいる場合など、圧力表示ピンが自然に下がるのを待てない場合は、以下の方法で蒸気を抜いて減圧してください。



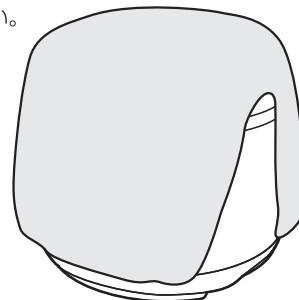
※ 調理中や調理終了直後の減圧は絶対にしないでください。
※ 蒸気は高温のため、取り扱いには十分注意してください。
※ 周囲に人やペットがいないことを必ず確認してください。

① 急いでふたを開けたいときは  ボタンを押してコンセントから電源プラグを抜きます。

② 圧力切換弁を含むふたの上に、ぬれふきんを厚めにかけます。

※ 勢いよく蒸気が出て危険なので、必ず厚めのぬれ布巾を使用してください。

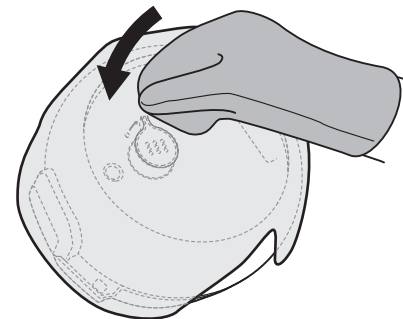
※ ふた全体をおおうように、ぬれふきんをかけてください。



※ ぬれふきんに調理したものがかかるおそれがあります。

③ 耐熱性手袋 (ミトン等) をはめて、ぬれふきんの上から、圧力切換弁を「排気」の位置にゆっくり動かします

※ 圧力切換弁のつまみの部分を、耐熱性手袋 (ミトン等) の先で押して動かします。圧力切換弁の真上から蒸気が吹き出すため、必ずつまみの部分を押してください。圧力切換弁の真上には触れないでください。



※ 圧力切換弁から蒸気が出はじめたら、すぐに手をはなしてください。排出される蒸気に注意してください。

※ おかゆなど水分が多い料理の場合、調理したものが圧力表示ピンや圧力切換弁から噴出する場合があります。

④ 蒸気が出なくなったらぬれふきんを取り、圧力表示ピンが下がっていることを確認してからふたをあけます。

※ ふたや圧力切換弁、ぬれふきんが熱くなっているため、やけどに注意してください。



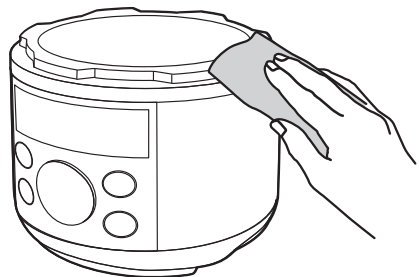
※ 高温の蒸気が出てきますので、ぬれふきんと耐熱性手袋 (ミトン等) を必ず使用してください。
※ 内ふたや調理物が熱くなっていますので、ふたを開ける際はやけどに注意してください。

お手入れ

- ※ 内なべや内ふた、パッキンなどに食品かすなどの異物を付けたままにしたり、圧力切替弁や圧力表示ピン、ノズルに異物が詰まっていると、けがややけど、故障の原因となりますので、使用後はしっかりとお手入れをしてください。
- ※ お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて本体を冷まし、各パーツを取りはずしてから行ってください。調理後は、たまった煮汁が内ふたから出てくる場合がありますので、注意してください。
- ※ 本体を丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください。また、本体や操作パネルに水をかけたりしないでください。感電・ショート・火災・故障の原因になります。
- ※ シンナー・ベンジン・研磨剤入り洗剤・みがき粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。表面に傷が付く原因になります。
- ※ 食器洗い機や食器乾燥機は使用しないでください。部品が変形し、故障の原因になります。

■ お手入れをする ■

やわらかいふきんで拭きます。
汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに台所用中性洗剤を含ませて拭き取ってください。



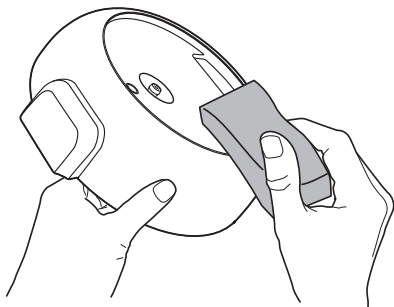
内なべ

中性洗剤をつけたスポンジで洗い、水で流します。
スポンジはやわらかいものを使用してください。



ふた本体

中性洗剤をつけたスポンジで全体を洗い、水で流します。
内ふたを取りはずして、ふた本体の内側も洗うことができます。



圧力切替弁

ふたから取りはずし、中性洗剤をつけたスポンジでよく洗い、水で流します。



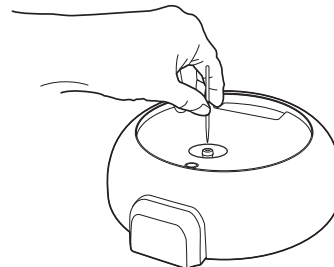
お手入れ

圧力表示ピン/ ノズル

水を流し、食品かすなどの異物が詰まっていないか確認してください。

- ※ ふたの内側に水をためて、圧力表示ピンとノズルから水が出てくることを確認してください。圧力表示ピンは、ふたの内側からつまんで上下に動かし、水が出てくることを確認してください。

異物がある場合は、つまようじなどで除去してください。



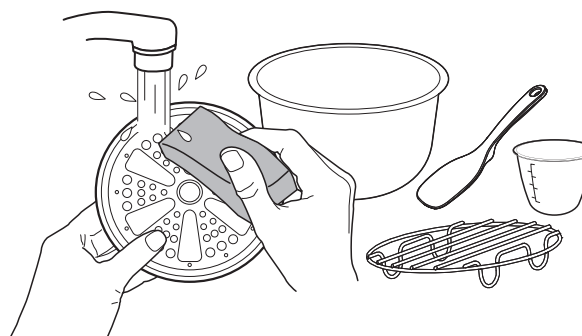
圧力表示ピンは、パッキンを取りはずすことで、ふた本体から取りはずしてお手入れができます。
お手入れ後は、ふた本体に圧力表示ピンとパッキンを必ず取りつけてください。



内ふた・付属品

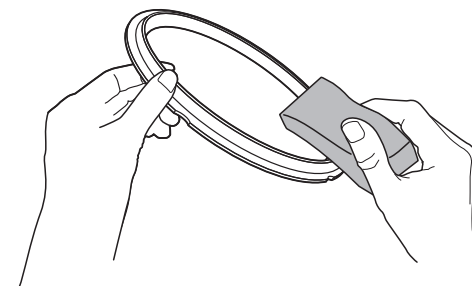
中性洗剤とスポンジで洗い、乾いた布で拭いてください。

- ※ 強い力を加えたり、たわし、研磨剤入りの洗剤などを使用しないでください。傷や破損の原因となります。
- ※ 電子レンジ・オーブン・オープンレンジ・食器乾燥機・食器洗い乾燥機では使用しないでください。



パッキン

パッキンを内ふたから取りはずし、中性洗剤をつけたスポンジで洗い、水で流します。
変形した場合は形が戻るまでお湯に浸します。



パッキンのおいが気になる場合のお手入れ

- ① パッキンがひたるくらいのお湯をなべに入れて沸かします。
 - ② 重曹(小さじ1)、酢(小さじ1)を溶かしたらパッキンを入れて、20分ほど煮沸してください。
- ※ 内ふたは入れないでください。変色の原因になります。

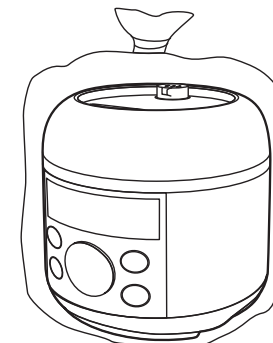


※ パッキンや内ふた、圧力切替弁などの部品は、お手入れ後の粉失や取りつけ忘れを防ぐため、乾いたらすぐ、ふたに取りつけておくことをおすすめします。

■ 長期間使用しない場合 ■

各部のお手入れ後、よく乾かしてから、お買い上げ時のケースに入れるか、ポリ袋に包むなどして、湿気のない場所に保管してください。

- ※ 部品や付属品の紛失にご注意ください。紛失を防ぐため、部品は本体やふたに取りつけた状態で保管することをおすすめします。



故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、ご確認ください。

症状	ご確認くださいこと	対処方法
煮えていない 煮え過ぎ 水っぽい	水量、設定時間を間違えていませんか。	付属のレシピブックを参照し、正しい水量、設定時間で調理してください。
	本体内部または内なべの外側に食品かすなど、異物が付着していませんか。	異物を取り除いてください。
	調味料が溶けずに残っていませんか。	調味料は、あらかじめ混ぜ合わせてください。
	材料が大きすぎませんか。	圧力調理モードで加圧時間を調整して、材料が煮えるまで圧力調理してください。
	ふたは確実に閉まっていますか。	ふたを確実に閉めてください。
焦げる	圧力切換弁が「密封」の位置にセットされていますか。	圧力調理の際は、圧力切換弁を「密封」にセットしてください。「排気」にセットしていると、圧力がかからず調理ができません。
ふたのすき間や圧力 切換弁から蒸気や汁 がもれる	ふた本体に内ふたが正しく取り付けられていますか。	内ふたを正しく取り付けてください。
	内ふたのパッキンが正しく取り付けられていますか。	パッキンを正しく取り付けてください。
	ふたやパッキン、圧力切換弁に食品かすなどの異物が付着していませんか。	異物を取り除いてください。
	本体・内なべ・ふたにへこみや傷、パッキンや圧力切換弁に傷はありませんか。	停止 / 保温ボタンを押し、電源プラグを抜いて直ちに使用を中止して、販売店またはマクスゼンテクニカルセンターへご連絡ください。
時間表示が変化しない	基本メニューや圧力調理モードで、圧力調理をしていませんか。	加圧状態に達するまでは、時間表示が変化しません。
ふたを閉めた後や圧力調理中、ふたと本体の間にすき間ができる	ふたの開け閉めの際に、ふたと本体が接触しないよう、すき間ができる設計になっています。ふたと本体のすき間から、蒸気のもれや噴出が起こっていないければ異常ではありません。	
ふたのすき間や圧力 切換弁から蒸気が噴 出する	ふたは確実に閉まっていますか。	ふたを確実に閉めてください。
	材料の量または水量が多すぎませんか。	内なべの「調理MAX」の線以上に、水や食材を入れて使わないでください。調理によって分量が増えるものは、内なべの「豆類MAX」の線以上に、水や食材を入れてください。
	圧力表示ピンのパッキンが正しく取り付けられていますか。	パッキンを正しく取り付けてください。
	圧力切換弁を外していませんか。	大変危険なので、使用中に、絶対に圧力切換弁を外さないでください。

故障かなと思ったら

症状	ご確認くださいこと	対処方法
ふたのすき間や圧力 切換弁から蒸気が 強く噴出し続ける (5 分以上)	ふたを正しく組み立ててセットしていますか。 圧力調理中、圧力切換弁を「密封」の位置にしていますか。	吹き出す蒸気に注意して、停止 / 保温ボタンを押し、電源プラグを抜いて直ちに使用を中止してください。冷めたら圧力切換・ふたを正しくセットしてください。正しくセットしても直らない場合は、販売店またはマクスゼンテクニカルセンターへご連絡ください。

症状	対処方法
エラーメッセージ(E1、E2、E4、E5)が表示される	故障の可能性があります。切ボタンを押し、電源プラグを抜いて直ちに使用を中止して、販売店またはマクスゼンテクニカルセンターへご連絡ください。
調理中にふたを開けてもディスプレイ圧力鍋イラストのふたが赤く光り、ビーと警告音が出る	内なべを入れ忘れていませんか。 ふた本体に内ふたやパッキンを取りつけずに使用すると表示される場合があります。内ふたとパッキンを正しく取り付けても改善しない場合は故障の可能性がありますので、販売店またはマクスゼンテクニカルセンターへご連絡ください。 内ふたのパッキンの劣化により、蒸気もれが起こっていると表示される場合があります。
エラーメッセージ(E3)が表示される	異常加熱の場合に表示されます。停止 / 保温ボタンを押し、電源プラグを抜いて、5 分ほど待ってから再度操作してください。 ※ 水分の少ない食材・汁気の少ない調理物の場合は、温度を均一にするため、かきまぜてから上記の操作を行ってください。 ※ 無水調理の場合、材料を入れる順番や分量は付属のレシピブックに従ってください。
メニュー / タイマーボタンや停止 / 保温ボタンを押しても、ディスプレイが「00 : 00」のまま表示が変わらない	故障の可能性があります。電源プラグを抜いて直ちに使用を中止して、販売店またはマクスゼンテクニカルセンターへご連絡ください。
使用中に停電した場合	復電した後は、運転を中止した状態(スタンバイモード)になります。圧力調理中に停電した場合、圧力表示ピンが上がっている間は、ふたを無理に開けたり、本体を移動させたりしないでください。蒸気や調理物が噴出し、けが、やけどの原因になります。



※ ふたを開けて中身を確認したり、調理をやり直したりする場合は、停止 / 保温ボタンを押して調理を中止し、電源プラグを抜いてください。圧力表示ピンが下がっていることを確認してから、ふたを開けてください。

品 番	電気圧力鍋 MEPC-TX301-WH / RD / BK
電 源	交流 100V 50/60Hz
消 費 電 力	700W
調 理 容 量	1.3L
満 水 容 量	2.0L
使用最高圧力	70kpa
質 量（約）	2.56kg
電源コードの長さ	（約） 1.2m
安 全 装 置	電流ヒューズ 3.15A 温度過昇防止装置（温度ヒューズ 133℃）
付 属 品	取扱説明書（保証書）、電源コード、計量カップ、しゃもじ、蒸し台、レシピブック、パッキン（予備）
外 形 寸 法	W210×D230×H225mm
製 造 国	中国

※製品の仕様やデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。
※本製品は日本国内でのご使用いただくために設計・製造されたものです。

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。



PSC マーク
「消費生活用製品安全法」の家庭用の圧力なべ及び圧力がまの安全基準に適合していることを示します。



SG マーク
SG マーク制度は、家庭用の圧力なべ又は圧力がまの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。

経年劣化によるご注意
長年使用している製品は、火災などの事故につながる恐れがあります。安心してご使用いただくため、長期間使用しましたら安全のため、必ず点検することをおすすめします。ご使用環境およびご使用時間などがことなるため、点検時期、点検方法および点検費用については販売店または「マクスゼンテクニカルセンター」にご相談ください。

基本的な取り扱い方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページ上にも情報を掲載しておりますのでご覧ください。www.maxzen.jp

故障と思われる場合のご相談について

この取扱説明書内にあります「故障かな?と思ったら」の内容や上記ホームページをチェックしても問題が解決できない場合、まず電源プラグを抜いてお買い上げの販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターまでご連絡ください。

マクスゼンテクニカルセンター TEL:0570-099-455
mail : mtc@maxzen.jp 受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日・夏季休業期間・年末年始等を除く)

○お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
○利用目的の範囲内で、当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

修理について

当社では原則的に出張修理を行っておりません。
センドバック修理となりますので予めご了承ください。

部品について

修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない限り当社で引き取らせて頂きます。また、修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターが修理をさせていただきます。

保証期間が過ぎているとき

修理をすれば使用出来ると思われる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金について

修理料金は、技術料・部品代・製品の送料などで構成されています。当社では原則的に出張修理は行っておりません。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
送料	製品を修理会社まで運搬するための費用です。



愛情点検

長年ご使用の電気圧力鍋の点検をぜひ！
熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際
このような症状はありませんか？
●煙が出る
●異常なニオイや音が出る
●内部に水や異物が入った
●本体の変形や破損がある
●その他の異常・故障がある

ご使用中止

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

保証書

- 保証期間はご購入日から1年間です。保証対象は機器本体のみです。
(保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証規定をよくお読みください)
- 保証期間中は保証規定に従い無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎている時はご購入の販売店又はマクスゼンテクニカルセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。

保証書			
製品名	電気圧力鍋		ご購入履歴を印刷いただき本書と一緒に保管してください 保証書のお買い上げ日については商品出荷日となります 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください
製品型番	MEPC-TX301 (WH / RD / BK)		
お買い上げ日	年 月 日		
故障の状況	できるだけ具体的に		
接続している機器			
お名前			
ご住所			販売店
電話番号			

保証規定

- 1.修理はご購入の販売店又はマクスゼンテクニカルセンターに必ず製品本体と保証書を提示の上、ご相談ください。
- 2.ご贈答、ご転居の際は、ご購入の販売店又はマクスゼンテクニカルセンターに必ず製品本体と保証書を提示の上、ご相談ください。また、保証書には、ご購入履歴を印刷いただき一緒にご提示ください。
- 3.次のような場合、保証中でも有料修理になります。

- ・火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷等の天災地変による故障や損傷。
- ・指定以外の電圧を加えたことによる故障や損傷。
- ・ご購入後の落下、移動等運送上の破損及び取り付け時の破損や損傷。
- ・保証書の提示がない場合。
- ・保証書にお客様名、ご購入日、販売店名の記入がない、又は字句を書き換えられた場合。
- ・一般家庭用以外での業務用に使われた場合(本製品は一般家庭用であり業務用ではありません)
- ・使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷。
- ・不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
- ・車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷。
- ・オークションで落札された商品の場合。
- ・離島又は離島に準ずる遠隔地へ引取修理を行う場合の送料。

- 4.本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in japan.)
- 5.保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。